江田島市地域経済動向調査(平成31年2月)

■全国の景況

◇月例経済報告(H30年12月号より)

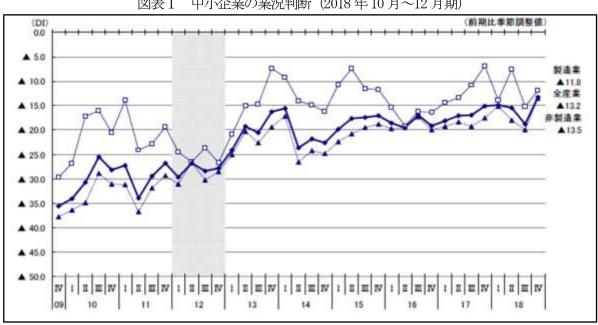
『景気は、ゆるやかに回復しいている。』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、増加している。
- 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続 くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融 資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

◇中小企業景況調査(2018年10~12月より)

『中小企業の業況は、一部業種に一服感が見られるものの、基調としては、緩やかに改善している。』

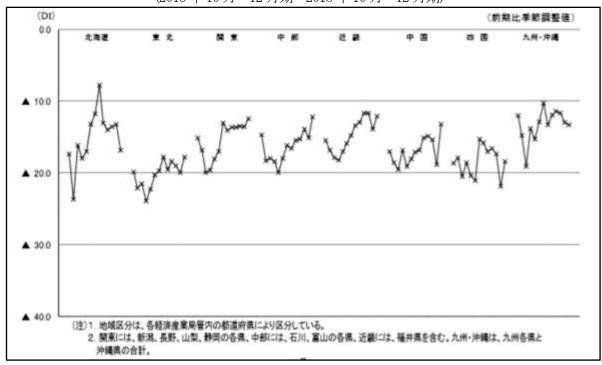
- ・2018年10~12月期の全産業の業況判断DIは、▲13.8(前期差1.8ポイント増)となり、 3期ぶりに上昇した。
- ・製造業の業況判断DIは、(前期▲10.5→) ▲10.2 (前期差0.3ポイント増) と2期ぶりにマイナ ス幅が縮小した。
- ・非製造業の業況判断DIは、(前期▲17.2→)▲15.0 (前期差2.2ポイント増)と3期ぶりにマ イナス幅が縮小した。



図表 1 中小企業の業況判断(2018年10月~12月期)

・地域別の業況判断DI (全産業) は、中国、四国、中部、東北、近畿、関東でマイナス幅が縮小し、北海道、九州・沖縄でマイナス幅が拡大した。

図表 2 中小企業の地域別業況判断DIの推移(全産業) (2015年10月-12月期~2018年10月-12月期)



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告(平成31年1月)

『県内経済は、緩やかに回復している』

・個人消費:「回復しつつある」

百貨店販売は、地元プロ野球チーム関連のセールなどは好調であったものの、冬物衣料や食料品などが低調であり、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は惣菜などが、ドラッグストア販売は食料品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売(新車登録・販売台数)は、普通車、小型車、軽自動車ともに前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では回復しつつある。

・生産活動:「緩やかに回復している」

輸送機械は、自動車が国内外の需要が堅調であることなどから、増加している。一般機械は、欧州向けの建設機械が堅調であることなどから、増加している。電気機械、プラスチック製品は、液晶テレビ向けの部材が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼は、建築や自動車向けなどで堅調な動きとなっている。このように、生産活動は、全体では緩やかに回復している。

・雇用情勢:「着実に改善しており、人手不足感が一段と拡がっている」

有効求人倍率(平成30年9~11月)は2.12倍と、全国の1.63倍と比べ高水準で推移してるほか、新規求人数も増加しているなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が一段と拡がっている。

- ・設備投資:「平成30年度は前年度を下回る見通し」
 - ○製造業では、自動車、生産用機械などで増加するものの、鉄鋼、その他製造などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
 - ○非製造業では、その他のサービスなどで減少するものの、金融・保険、小売などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- ・企業収益:「平成30年度は減益見込み」
 - ○製造業では、その他の輸送機械、生産用機械などで増益となるものの、自動車、化学など で減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - ○非製造業 (除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」) では、運輸・郵便、不動産 などで増益となるものの、小売、建設などで減益となることから、全体では減益見込みと なっている。
- ・企業の景況感:「『上昇』 超に転じる」

企業の景況判断BSI (景況判断指数) は、「上昇」超に転じている。 なお先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

・住宅建設:「前年を下回る」

新設住宅着工戸数でみると、給与住宅、持家が増加しているものの、貸家、分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

・輸 出:「前年を上回る」

県内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、電気機器、船舶などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。

なお、輸入は、石油製品、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域 別では、アジア、中東欧、ロシア等などで増加している。

表図3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値 2010年=100)		電力需要 実績 イン・ファック でする ファック である。 ファック である。 ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック		乗 用 車 新車登録・ 届出台数	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率	所 定 外 労働時間 仲 び 幸
	指数	前月(年、期)比	前年比	前年比	前年比	戸数合計	持家	貨家	前年比	前年比
2014年	104.5	2.4	1,9	0.8	4.8	△ 16.1	△ 19.2	△ 19.7	※△ 5.4	8.1
15	108.7	* 4.0	0.9	△ 0.5	△ 9.8	△ 1.0	A 1.0	15.2	₩△ 4.9	△ 1.0
16	110.1	1.3	-	△ 0.5	A 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9
17	110.5	0.4	-	A 1,5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	3.3	0.7
17年 7~9月	109.6	△ 0.3	△ 7.0	△ 1.3	3.3	6.6	△ 5.4	3.2	△ 8.8	1.3
10~12	110.4	0.7	△ 3.6	△ 1.3	△ 0.4	24,2	△ 3.2	38.8	12.1	2.4
18年 1~3	108.5	△ 1.7	A 5.0	△ 1.0	A 3.5	3.0	A 5.3	A 0.3	A 72	A 2.1
4~6	112.1	3.3	0.5	△ 1.7	△ 0.6	△ 19.5	△ 7.1	△ 10.1	10.1	△ 2.7
7~9	98.3	A 12.3	2.5	△ 1.5	5.5	△ 11.4	A 2.3	△ 6.4	0.4	A 2.5
17年 10	108.8	△ 0.1	△ 10.3	△ 3.1	1.5	35.0	△ 5.6	33.2	69.6	2.7
11	111.4	2.4	△ 2.0	△ 0.4	△ 4.9	13.7	0.8	27.1	8,5	0.2
12	111.0	△ 0.4	1.9	△ 0.3	2.6	25.4	△ 5,0	56.6	△ 40.8	4.2
18年 1	109.0	△ 1.8	△ 4.2	△ 0.4	1.2	△ 3.3	0,3	△ 32.4	15.1	△ 0.9
2	109.8	0.7	△ 3.5	△ 1.9	△ 3.9	△ 2.8	△ 11.1	△ 8.1	27.7	A 23
3	106.8	A 2.7	Δ 72	△ 0.8	△ 5.9	15.2	A 4.1	46.4	A 30.2	△ 3.0
4	112.6	5.4	0.4	A 2.1	5.0	A 9.1	△ 5.2	A 2.6	Δ 2.1	A 3.1
5	110.3	A 2.0	0.6	△ 3.8	△ 2.7	△ 33.5	A 4.0	△ 15.0	13.9	A 25
6	113.3	2.7	0.5	0.8	△ 3.5	△ 11.1	△ 11.6	△ 13.4	19,6	A 2.5
7	88.1	△ 22.2	△ 0.9	△ 4.1	1.1	△ 18.7	△ 5.7	△ 18,4	4.7	A 3.3
8	100.2	13.7	4.5	A 0.3	17.1	15,2	6.3	14.0	10.9	△ 0.9
9	106.6	6.4	4.0	A 0.2	1.2	△ 24.0	△ 6.0	△ 127	△ 14.7	A 4.2
10	113.5	6.0		△ 0.4	13.5	△ 23.6	10.1	△ 41.9	△ 22.3	0.0
11	P 113.1	△ 0.4		0.1	12.0	△ 14.3	5.5	△ 24.0	17.6	2100
調査機関	広島男	R 統計理	資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局	(M)	土交通	省	西日本建设集保証	県統計課

⁽注) Pは遠報値、鉱工業指数の暦年値は股指数。電力需要実験は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、 2016年3月までは中国電力公表の大口電力需要を掲載している。百貨店・スーパー振完額の仲び率は店薪調整値、公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

		有効求人 倍 率	消費者 銀 行 サルブネ		手 形 交 換		不 渡 手 形 (内取引停止処分)		企業 領産 (負債1千万円以上)		
		(倍)	押 年 比 (広島市)	総預金(佐円)	貸出金(億円)	枚 数 (干枚)	金額 (億円)	枚 数 (枚)	金额 (万円)	件 数	負債 報 額 (百万円)
201	14年	※1.29	2.5	116,447	80,458	1,310	39,543	74	4,352	195	17,092
1	15	₩ 1,52	1.5	120,678	84,246	1,229	35,466	80	4,654	170	25,805
	16	※ 1.68	0.0	122,718	86,678	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005
1	17	₩ 1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960
17年7~	9月	1.84	0.6	126,986	91,906	243	6,921	16	315	34	3,316
10~1	12	1.94	0.4	128,288	93,618	256	7,761	10	347	40	15,541
18年 1~	3	1.96	1.3	129,242	94,233	245	6,382	17	448	49	3,643
4~	6	2.00	0.5	129,630	95,797	248	7,051	35	3,556	34	5,141
7~	9	2.14	1.0	129,174	96,307	239	6,809	1	10	49	15,687
17年 1	10	1.89	0.0	126,633	92,209	105	3,289	2	154	20	5,112
1	11	1.93	0.4	126,472	92,770	84	2,441	8	194	- 11	586
	12	2.00	0.8	128,288	93,618	67	2,031	-	-	9	9,843
8年	1	1.98	1.5	127,307	93,320	99	2,606	2,-2	-	15	568
- 1	2	1.98	1.4	127,620	93,254	81	2,259	12	326	12	515
	3	1.92	1.1	129,242	94,233	65	1,516	5	122	22	2,560
	4	1.92	0.5	129,938	94,326	80	2,340	19	2,015	16	3,538
	5	2.00	0.5	129,298	94,943	105	2,576	12	1,426	10	1,295
- 1	6	2.10	0.6	129,630	95,797	63	2,135	4	115	8	308
- 1	7	2.14	0.7	128,292	95,119	101	2,819		-	18	2,560
- 1	8	2.13	1.1	128,466	96,208	81	2,310	1.	10	19	12,396
- 1	9	2.14	1.1	129,174	96,307	57	1,680		-	12	731
1	10	2,11	1.1	128,133	96,016	99	2,842	12	353	26	2,995
- 1	11	2.11	0.4	127,791	96,588	79	2,376	26	2,655	12	2,838
調査機	(例)	広島労働局	総務省	日本銀行	広島支店		広島県	展行 協会		帝国データバ	ンク広島支柱

⁽注) 有効水人信率の光は年度で原数値、年度及び四半期の数値は月平均。載粉金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値は3月末残高、銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

■江田島市の景況

◇中小企業景況調査(H30年12月)

『江田島市の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、平成30年10月~12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・平成30年10月~12月期の広島県の全産業の業況判断DIは▲7.1であり、全国と比較して、 6. 7ポイント高くなっている。
- ・江田島市の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、DIは ▲33.3であり、全国値・広島県値より低い値となっている。

図表4 景況判断状況(全産業)

(前期比)

		平成	29年		平成30年			
	1-3月	4 - 6 月	7 - 9 月	10-12月	1-3月	4 - 6月	7 - 9 月	10-12月
全国	▲ 16.9	▲ 14.5	▲ 14.9	▲ 14.4	▲ 13.9	▲ 14.0	▲ 15.6	▲ 13.8
広島県	▲ 19.9	▲ 16.8	▲20.1	▲ 17.8	▲ 14.5	▲ 14.7	▲ 18.2	▲ 7.1
江田島市	_	_	_	_	_	▲33.3	▲20.0	▲33.3

・江田島市15社分の現在の景況感は次のとおりである。 なお、、平成30年10月~12月に設備投資を実施した事業者はなかった。

8 (53%) 6 (40%) 1 (7%) 1. 良い 2. 普通 3. 悪い

図表 5 現在の景況感

- ・中小企業景況調査では、全国で約18,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「大企業の進出による競争の激化」、小売業では「大・中型店の進出による競争の激化」、「販売単価の低下・上昇難」及び「需要の低迷」が、建設業では「大企業の進出による競争の激化」及び「官公需要の停滞」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」が経営上の問題点の1位になっている。

図表6 経営上の問題点

			経営上の問題点		
		1位	2位	3位	
	全 国	需要の停滞	従業員の確保難	製造設備の不足・老朽化	
製造業	江田島市商工会	大企業の進出による競争の激化	製品ニーズへの変化への対応	製造設備の不足・老朽化	
	人田區 II 倒 工 五	八正未の進出による競争の放化	原材料価格の上昇	表足以開め个た。名が几	
	全 国	熟練技術者の確保難	官公需要の停滞	材料価格の上昇	
建設業	江田島市商工会	大企業の進出による競争の激化	民間需要の停滞	その他	
	大山町山町工工	官公需要の停滞	氏旧而女の庁市		
	全 国	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化	購買力の他地域への流出	
小売業	江田島市商工会	大・中型店の進出による競争の激化 販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	
		需要の低迷			
サービス業	全 国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難	
, c/x	江田島市商工会	利用者ニーズの変化への対応	利用料金の低下・上昇難	人件費以外の経費の増加	

◇保証月報(広島県信用保証協会月報)

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・平成30年12月の江田島市内中小企業の保証承諾件数は10件と同じであるが、金額は95百万円であり、前年同月比で増加している。
- ・平成30年12月の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は486件、金額は4,053百万円であり、前年同月比では減少している。

図表7 保証状況 (江田島市・広島県)

(単位:百万円)

		平成29	年12月		平成30年12月				
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
江田島市	10	66	531	4,416	10	95	486	4,053	
広島県	1,693	16,355	65,642	462,357	1,410	15,311	60,621	431,851	

以上